

事業番号	14 04 12	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	交流教育推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局		
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
		5 すべての子どもの学びを保障する支援				実施期間	S54 ~	

1 事業の概要

目指す姿	「共生社会」の実現にむけて、インクルーシブ教育の在り方について様々な方法が試されている今日に合って、「交流及び共同学習」の重要性が強調されている。その中で特別支援学校の児童生徒と幼・小・中高等学校等の児童生徒とが活動を共にし、「仲間意識を育む」「経験を広げる」等により、社会性や豊かな人間性を育むことを目指す。														
現状	○提携校との交流が減少している(H23延べ437回、H24延べ408)。 ○提携校以外の学校や居住地校、地域との交流及び共同学習が増加している(交流の総数 H23 延べ2,155回、H24延べ2,052回)。 ○交流提携校との交流において、各特別支援学校がボランティアを募集し実施しているが、その確保に苦戦している状況にある。														
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 特別支援学校学習指導要領													
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)														
	○交流の総数 延べ回数2,100回 : H24年度実績(延べ2,052回)を引き上げ、交流の総数を延べ回数を2,100回にする。														
	② 事業内容 (単位:千円)														
		項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)									
		交流教育提携校との交流	直接	・各特別支援学校と幼・保・小中高等学校で交流提携を結び、継続的・計画的な交流を実施 活動例)同学年児童との遠足、文化祭への参加、調理活動、スキー教室、レクリエーション等	1,417	1,195	1,195								
	提携校以外の相手先との交流	直接	・提携校以外の学校との交流(居住地校交流等) 同学年の通常の学級や特別支援学級での学習参加・交流 ・地域との交流の実施(地域の諸団体との交流) 季節行事への招待や参加(七夕会、お月見踊り、焼き芋、地域のお祭り等)												
	地域ボランティアの活用	直接	・交流提携校との交流及び共同学習での地域ボランティアの活用 地域ボランティアの活用により、交流提携校との交流及び共同学習の充実を図る(1校当たり40人日のボランティア)。	216	216	216									
	合計			1,633	1,411	1,411									
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況								
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標			
		当初予算	1,725	1,599	1,633	1,411	1,411			交流及び共同学習 の延べ回数	2,050回		目標	成果	達成状況
		補正予算													
		合計(A)	1,725	1,599	1,633	1,411	1,411								
	Aの財源	国庫支出金													
		県債													
		その他( )													
		一般財源	1,725	1,599	1,633	1,411	1,411								
	決算額(B)	1,451	1,126												
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10									
	概算人件費(C)	826	826	826	826	826									
	概算事業費(B(A)+C)	2,277	1,952	2,459	2,237	2,237									
指摘事項等への対応	(指摘事項等)				(対応)										
要求からの主な変更点	要求どおり														